

九州王朝論 章 栄光の姫氏・熊氏

—— 古代九州文明を築いた日本人 ——

水城と装飾古墳

神籠石

古代の不思議な建造物に「神籠石山城」と呼ばれる城がある。誰が何のために巨大な石垣を積んだか、正確には分かっていない。神籠石山城は福岡県に6城、佐賀県に3城、山口県に1城、岡山県に2城、兵庫県に1城、四国に2城あるといわれる。ほとんどは九州で発見されている。



おつぼ山……………佐賀県武雄市橘町小野原
高良山(こうらさん)……………佐賀県久留米市御井町高良山
女山(ぞやま)……………福岡県山門郡瀬高町大草西郷字女山
帯隈山(おぶくまやま)……………佐賀市久保泉町川久保神崎町
雷山(らいざん)……………福岡県前原市雷山
鹿毛馬(かけのうま)……………福岡県飯塚市鹿毛馬

御所ヶ岳(ごしょがだけ)……………福岡県行橋市津積みやこ町勝山大久保
 杷木(はき)……………福岡県朝倉市林田穂坂
 唐原(とうばる)……………福岡県築上郡上毛町下唐原土佐井
 石城山(いわきさん)……………山口県熊毛郡大和町(現光市)
 鬼ヶ城(おにのき)……………岡山県総社市奥城里尾
 大廻り小廻り(おおめぐりこめぐり)……………岡山市草ヶ部
 永納山(えいのうさん)……………愛媛県西条市楠
 讃岐城(さぬきやまのき)……………香川県坂出市西庄町
 播磨城(はりまやまのき)……………兵庫県龍野市新宮町

鹿毛馬（かけのうま）神籠石

九州「飯塚市鹿毛馬」に「鹿毛馬神籠石山城」がある。この山城は標高80mにある城である。この城は「山城」というより、平地に築かれている。場所は神武天皇家の都、田川市の西北である。この地は神武天皇が侵攻する以前は、「赤銅八十梟師」「磯城八十梟師」と名乗る熊襲の王が支配していた。神武紀は敵の素顔を熊襲とは記録していないが、「八十梟師(タケル)」とは熊襲の王の伝統の名前である。

倭國の磯城邑に、磯城の八十梟師有り。又高尾張邑に赤銅の八十梟師有り。此の類皆天皇と距き戦はむとす。
 （日本書紀・神武天皇）

神武東征以前、この地の支配者であったのは熊襲である。神武がこの山城を築いた記事はない。また神武以後この地を支配した天皇がこの山城を築いたという記事も記紀にはない。従って、神武以前の支配者がこの鹿毛馬城を築いたと考えられる。つまり「熊襲」が築いたということになる。



御所ヶ岳（ごしょがだけ）神籠石

福岡県行橋市津積みやこ町勝山大久保に「御所ヶ岳神籠石」山城がある。では、この山城は誰が築いたか。

「延喜式神名帳」に出雲國・苅田神社がある。その所在地は、現在「島根県大田市久手町波根西1942-2」で、一見、福岡県行橋市と無関係に見える。だが、この神社の名前は「苅田」である。「苅田」という地名は「福岡県・京都郡・苅田」である。「苅田神社」は元々ここに存在した。その神社がのちに島根県に移された。

「苅田神社」の祭神である「苅田比古神 苅田比咩神」が京都郡・苅田の王だったのであろう。彼らもまた神武以前にこの地を支配した一族の子孫ではなかろうか。山城は彼らの祖父の建造かもしれない。



御所ヶ岳神籠石

(fukuchan5926.blog36.fc2.com/?no=135)

雷山神籠石

姫氏の初代「忌」が渡来したと伝えられる山門郡には「女山神籠石」がある。二代目の王「順」が移り住んだ国は「倭奴國」と書かれている。この「倭奴國」が吉野ヶ里遺跡である。ここには「帯隈山神籠石」がある。前原市には「雷山神籠石」がある。

天皇、雷岳に御遊し時、柿本朝臣人麿の作る歌一首 万葉235番歌

皇は 神にしませば 天雲の 雷の上に 廬りせるかも
右、或る本に曰はく、忍壁皇子に獻るといへり。その歌に曰はく、
王は 神にし座せば 雲隠る 雷山に 宮敷きます

日本文学大系萬葉集には「雷丘は奈良県高市市明日香村雷にある丘。異説がある。」と頭注がある。しかし、明日香雷丘はととても、「天雲の」「雲隠る」と云う形容に耐える「山」ではない。人麿歌の雷岳は明日香・雷山ではない。雷山は前原市雷山である。すでに、古田武彦氏が指摘している通りである。

人麿は前原市「雷山」に登って、235番歌を詠んだ。題詞の天皇とは持統天皇である。さて歌中の「皇」とは誰か。通常、持統天皇とされる。人麿には「皇」を詠ったもう一つの歌を参考に考えて見よう。

長皇子獵路の池に遊し時、柿本朝臣人麿の作る歌一首 239番歌

やすみしし わご大王 高照らす わが日の皇子の 馬並めて み獵立たせる 弱薦を 獵路の小野に
猪鹿こそば い匍ひ拝め 鶉こそ い匍ひ廻ほれ 猪鹿じもの い匍ひ 拝み 鶉なす い匍ひ廻ほり
恐みと 仕へ奉りて ひさかたの 天見のごとく 眞澄鏡 仰ぎて見れど 春草の いやめずらしき わご
大王かも

反歌一首 240番歌

ひさかたの 天ゆく月を 網に刺し わご大王は 蓋にせり

239番歌は「獵路の池」に狩に行った時の歌である。「獵路の池」と「雷山」にはおよそ何の関連もない。二つの歌の響きは全く異なる。

人麿の歌には孫に注ぐ祖父の愛情のようなものを感じる。「ほら、お月さんを見てごらん。棒の先に付いている捕り物網に月が捕まえられてちょうど蓋のようになっているよ。」微笑ましい光景である。239番歌と240番歌はセットで問題はない。

ところが、萬葉集は240番歌の反歌にもう一つ、241番歌を載せる。

或る本の反歌一首 241番歌

皇は 神にし座せば 眞木の立つ 荒山中に 海を成すかも

この歌は異質である。239番歌とその反歌240番とは一見して異なる。241番歌には微笑ましい雰囲気は全くない。厳しい。「荒山中」の言葉にもその厳しさが表れている。明らかに、241番歌をここに反歌として編集したのは万葉編者のミスであろう。

さて、この241番歌の解釈が難しい。古来、山の中に海を作るという意味が通らないからである。

241番歌と235番歌は歌の一句、二句は全く同じである。従って、二つの歌は対で読まれたと思われる。作歌時は人麿が持統と前原市雷山に登った時、作歌場所は雷山であろう。

皇は 神にし坐せば 天雲の 雷の上に 廬らせるかも (235番歌)

皇は 神にし座せば 眞木の立つ 荒山中に 海を成すかも (241番歌)

だが、作歌場所は同じ雷山でも235番歌「雷社・上宮」のある雷山の中腹である。では、241番歌はどこで読まれたか。「海」である。「海を成すかも」と詠ったのは実景である。人麿は「海」を見て、「皇」の業績を讃えたのである。「海」とは何か。雷山の山の中に「海」はない。人麿は何を見て詠ったのか。雷山の神籠石である。

- (1) 雷山神籠石は雷山(標高955m)の北中腹、標高400～480mの山の中に築かれた古代山城です。
- (2) 城の範囲は東西300m、南北700mほどと考えられます。ここからは糸島地方のみならず博多湾や玄界灘まで広く一望できます。
- (3) 遺構としては現在谷の南北に築かれた水門とそれから東西に延びる列石群を見ることができます。
- (4) 南水門には列石の下部に設置された「暗渠」様式の水門跡と石塁の一部に水樋を設けてそこから流水する水門跡の2種類の水門跡があります。さらに、南水門一帯には門跡らしき列石の切れ間を2ヶ所確認しています。
- (5) 北水門は切石を長さ12m、幅10m、高さ3mに積み上げた強固な造りを見せています。また、水門の東西両端からは列石が「ハ」の字形に開きながら尾根頂上に向けて急斜面を登っています。

写真は「雷山神籠石」の北水門である。雷山神籠石は水城だった。水門を南北に設けて貯水していた。そして、敵が攻め上って来た時、水門を開いて激流放つという水城である。実際にそこに立って見ると、神籠石・水門は川が流れる狭い谷に石を強固に積み上げている。幅は約10mぐらい、高さは3mぐらいである。これだけの堰ではそれほどの水量を貯めることはできないが水門はその上に土塁を積み上げ堤防を高くしていたのであろう。その高さは、今も残る石垣の高さであったとすれば、水門の高さは10m以上になるであろう。巨大な人工ダムである。



雷山神籠石・北水門

山の中に突然、巨大な池が出現する。“海”とは云えないまでも、これだけの貯水池が人間の手によって造られた。この人造湖を造ったのが「皇」である。持統も人麿もそのいわれを知らされていたのであろう。

皇は 神にし座せば 眞木の立つ 荒山中に 海を成すかも (241番歌)

人麿と持統天皇は前原市雷山に登った。神武天皇家に伝わってきた雷山に祀られた皇。皇が造ったという水城。それを実際に見た。雨雲の上に祀られた皇、巨大なダム。これらは感動の歌となった。

「皇」とは九州の覇者、姫氏、熊氏の王であらう。

現在、雷山の水門は開いたままで、川の水が水門を通して流れている。しかし、その上手には貯水池がある。「不動池」という。その池はまるで雷山神籠石水城を見ているようである。「不動池」は山中に堤を積み上げて作られた池であるがその目的は知らないが、雷山神籠石を今に残しているかのようである。

雷社上宮に立つと、九州北部の海岸の大部分が見通せる。ここに埋葬された「皇」は海を渡って侵入してくる外敵を見据えている。死してなお国を守ろうとしているかのようである。この「雷山神籠石」の麓には前原市がある。ここには「平原遺跡」「曾根遺跡群」がある。また筑紫風土記の「伊都縣」がある。そこから少し東の福岡市西区には「上山門(やまと)」「下山門(しもやまと)」がある。いずれも古代に栄えた町である。

前原市大字雷山・飯原（HPより）

雷山神籠石の遠景（中央のため池の上流と下流に水門が残る）

装飾古墳

九州には装飾古墳が存在する。九州国立博物館・HPからまとめてみよう。

- 福岡県 (1) 筑後川中流域：西側に開口する石室の奥壁に彩色で描かれた同心円文を描く・日岡古墳、珍敷塚古墳、重定古墳など。
- (2) ハ女丘陵：岩戸山古墳を盟主として代々、前方後円墳が築かれる。石人山古墳は北部九州最古の装飾古墳。
- (3) 筑豊：遠賀川およびその支流に分布する。王塚古墳や竹原古墳など。
- (4) 豊前：線刻で鳥や木の葉。穴ヶ葉山。
- 熊本県 (1) 菊池川中流域地区：最も装飾古墳が集中する地区。チブサン古墳、弁慶ヶ穴古墳、鍋田横穴墓群など彩色・彫刻ともに豊かである。
- (2) 熊本市周辺：鮮やかな双脚輪状文の釜尾古墳。直弧文が美しい井寺古墳。靱を彫刻した千金甲1号墳
- (3) 八代海沿岸：彫刻による装飾を持つ古墳。田川内1号墳や広浦古墳。
- (4) 人吉盆地：横穴の外側の壁に彫刻した文様を持つ。大村横穴墓群や京ヶ峰横穴墓群。
- 大分県 (1) 日田盆地：同心円文、人物文などを彩色。グランドヤ1・2号墳・日田穴観音古墳。
- (2) 玖珠盆地：同心円文が主文様。玖珠鬼塚古墳。
- (3) 宇佐平野：彩色をもつ横穴墓群。一鬼手横穴墓群や加賀穴横穴墓群、貴船平横穴墓群など。
- 佐賀県 (1) 鳥栖市周辺：筑後川流域の装飾古墳の影響を受けている。田代太田古墳。
- (2) 佐賀市周辺：線刻と彩色を組み合わせた古墳。西隈古墳。
- (3) 小城～多久・杵島：線刻のみの装飾古墳。

長崎県 (1) 佐賀県と接する有明海沿い・壱岐:線刻のみの装飾ですが鯨や舟など海洋関係のテーマが目立ちます。

宮崎県 (1) 宮崎平野・えびの高原: 彫刻や線刻、または朱線による装飾を持つ家形の地下式横穴墓。

装飾古墳は古代九州王朝の王家「姫氏」「熊氏」の陵墓であろう。その形態は「横穴墳」「円墳」「前方後円墳」があり、古いのは横穴墳である。横穴古墳が多いのは熊本県である。「姫氏」の初代王「忌」が到着した土地が「菊池郡」である。熊本県に「横穴」古墳が多いのはその史実が関係するかもしれない。

浮羽市、朝倉市は杷木神籠石がある。朝倉郡では三基の円墳。浮羽市には前方後円墳二基、円墳一三基が存在する。吉井町にある「珍敷塚古墳」は倭の五王・珍の墳墓ではないかともいわれているが確かではない。

確かなのはその古墳の絵に描かれているのが「海と船」だということである。絵には「海」「船」「船を漕ぐ人」「鳥」「照りつける太陽」が描かれている。これらの絵は彼らの物語である。「姫氏」も「熊氏」も祖国を追われ、長い航海の末、日本列島たどり着いた。「祖国の滅亡」「船団による祖国脱出」「苦難の航海」「鳥の案内」「日本上陸」がその物語である。珍敷塚古墳に描かれた絵は「祖先はこうして日本に来了。祖先の苦難を忘れるな」と遺言しているかのようである。



岩戸山古墳

八女市は岩戸山古墳を盟主として代々、前方後円墳が築かれると国立博物館は解説している。八女には磐井の古墳と云われる石戸山古墳がある。北部九州最古の装飾古墳で九州一の規模である。筑後國風土記にその記録がある。

筑後國風土記

上妻の県。県の南、二里、筑紫の君、磐井の墳墓あり。高さ七丈、周り六十丈なり。石人と石盾と各々六十枚、交陣なり行を成して四面に周匝れり。東北の角に当りて一つの別区あり。号して衙頭と曰う。

其の中に一人の石人あり。縦容に地に立てり。号けて解部と曰ふ。前に一人あり。裸体にして地に伏せり。号

けて盗人と云う。側に石猪四頭あり。贓物と号く。彼の所に亦石馬三疋・石殿三間・石蔵二間あり。古老伝えて云えらく、雄大迹の天皇のみ世に当りて、筑紫君磐井、豪強く暴虐くして、皇風にしたがわず。生平けりし時、預め此の墓を造りき。

岩戸山古墳には現在、石人、石馬、力士、盾、太刀、水鳥など模造石像が立てられている。石人、石馬も堂々たるものである。裁判の様子を表した「衙頭」という別区がある。磐井は刑法を定めたことで、当時、先進的な国家システムを作り上げた。

神武の始まる神武天皇家の古墳は小倉南区に集中する。継体によって滅ぼされた「筑紫の君」と称された磐井は卑弥呼の國を受け継ぐ「姫氏」の王であったと思われる。



夏古墳群(福岡県田川市夏古)

神武は香春町、田川市に攻め入ってそこに神武の國を打ち立てた。神武以前、そこは、「熊襲」の王が治める先進地帯だった。

風土記は二種類あるといわれる。行政組織を「国－郡－里」とする風土記と「国－縣」とする風土記がある。「国－郡」制は神武天皇家の國の風土記である。「縣」を行政単位とする國が「熊襲」の國である。

神武紀において「菟田縣」の「弟猾」が語る場面がある。

秋8月2日に、天皇、兄猾及び弟猾を徴さむ。是の両の人は、菟田縣の魁師(ひとごのかみ)なり。

時に、弟猾又奏して曰さく「倭國の磯城邑に、磯城の八十梟師有り。又高尾張邑に、赤銅の八十梟師有り。……」
(日本書紀・神武紀)

神武天皇が侵入した「菟田」は「縣」という行政区名で語られている。「縣」という行政単位を持つ国家とは熊氏である。「兄猾」「弟猾」という兄弟はこの「縣」の長官であろう。「猾」とは「勝」であろう。弟勝が「倭國には二人の八十梟師(タケル)がいる。」と神武に言う。「タケル」とは熊襲の王の名前である。神武が戦った相手は熊襲であった。この「倭國」とは香春町・田川市である。

田川市に残る代表的な古墳を見てみよう。

今回の見所はなんと言っても夏吉古墳群。初めて筑豊の古墳を見学した時に近くの伊方古墳までは訪ねたのですが、その時はこの古墳群の存在すら知りませんでした。これ程立派な石室、田川市はもっと一般人にも知ることの出来るように宣伝して欲しいものですね(^)。でも古墳の状態はすこぶる良好、何時までも大切に保存して頂けるよう願っています。

夏吉1号墳は、直径14m・高さ3.5mの円墳で、石室は全長8.2m、橋塚タイプでの石室ですが、玄室の平面プランは正方形となっています。この1号墳は側壁に石棚を持つ珍しい石室で、同様の形態のものは、他に鞍手郡宮田町百塚1号墳が知られるのみとされています。

夏吉21号墳は直径25mの円墳で石室は全長12.5mの規模を持ち田川地方でも最大規模の石室です。1号墳と同様橋塚タイプの横穴式石室で、花崗岩の巨石で構築されています。奥壁は一枚石でその高さは床面から2.62mもあります。

夏吉2号墳は直径約21mの円墳で、1号、21号墳と同様に橋塚タイプの石室を持ち、規模、構造ともに21号墳に近似しています。

これらの三基の古墳と同種の石室墳として夏吉古墳群の近くにある方城町伊方古墳が知られていますが、この石室では前室が玄室とほぼ同形同大と特異な石室で、羨道が高く、前室・玄室の天井高が相対的に低くなっています。また夏吉古墳群では、3号墳と35号墳の様に四壁を持ち送る穹窿状石室も知られ、35号墳は長方形プラン、3号墳が正方形プランの平面系を持ちます。この様に夏吉古墳群では、橋塚タイプの石室が多く見られ、特に夏吉2号墳、21号墳、伊方古墳では、奥壁が一枚石で構成されますが、その上段に薄い石材をかませて、その石材を内側にわずかに突出させるという共通の構築法がみられます。 (www62.tok2.com/home/kenfunroku/tikuho-1.htm)



夏吉1号墳

これらの古墳に埋葬された王は「熊襲」の王であろう。古代中国「楚」の王家一族である熊氏の國であった「倭國」の王の陵墓が夏吉古墳であろう。

- (1) 姫氏とは揚子江の沿岸に栄えた古代文明国家「呉」の王朝の子孫であった。「熊襲(熊氏)」とは同じ揚子江沿岸に栄えた「楚」の國の王家子孫であった。姫氏は紀元前四百年頃、祖国の滅亡によって黒潮にのって北上し、九州各地に渡来した。熊氏もまた紀元前二百年頃楚の國の滅亡とともに九州に移住してきた。
- (2) 九州へ移住してきた姫氏の初代の王は「忌」である。松野連姫氏系図では初代王の名前を「忌」と書くが、本来は「姫」である。この王朝は初代王の名を以て、「忌氏」「姫氏」と名乗り、九州西部・北部東部と中国地方・四国瀬戸内海沿岸に国家を築いていった。
- (3) その國名は、「忌氏」の國、つまり「忌國」である。「忌國」は「紀國」「倭國」とも表記された。従って、「倭國」は本来、「キコク」と読まれるべきである。和歌山市岩橋に存在する岩橋千塚古墳群は古代豪族紀氏一族の墓とされる。彼らもまた「姫氏」であろう。
- (4) 倭王「熊」(字は鹿文)の時(西暦57年)、後漢「光武帝」から「金印」を授かる。倭王は自ら「熊」と名乗った。「熊」は中国「楚」の伝統ある國王の名である。同じ九州に実在した神武天皇家も早くから「熊氏」を認識していた。故に日本書紀は「熊襲」と記述したのである。「熊襲」とは姫氏のあとに九州を支配した熊氏である。

「熊襲」とは九州の“野蛮な民族”というイメージは一新されなければならない。「熊襲」は輝かしい弥生文明をもった日本人であった。神武、倭建、景行などの戦記はこの熊氏との戦記である。
- (5) 中国史書に登場する「倭人」とは「姫氏」であり、また「熊氏」である。また「倭」とは「姫氏」が打ち立てた國家「姫(倭)國」をさした。
- (6) 倭の五王「讃」「珍」「済」「興」「武」は「熊氏」の系譜の國王である。彼らの國は博多を玄関とする太宰府だったと考えられる。倭王武の上表文には歴代の征服譚が簡潔に描写されている。
- (7) 姫氏・熊氏の國が存在したと考えられる所には現在「神籠石」と呼ばれている山城がある。姫氏、熊氏の國は「神籠石」水城の城下町だった。
- (8) 姫氏・熊氏の國に存在する古墳は姫氏・熊氏の王一族の墓である。